



遊びは学び

園長 須田なぎさ

子供園では、主体的に取り組む遊びを「遊びは学び」と捉え、大切にしています。保護者の皆様の中には、「遊んでばかりで、本当に学びになるの?」という思いをもつ方もいるかもしれません。

幼稚園教育要領には、「遊びは遊ぶこと自体が目的であり、人の役に立つ何らかの成果を生み出す目的ではない。しかし、幼児の遊びには、幼児の成長や発達にとって重要な体験が多く含まれている。」とあります。幼児が、やりたいことを自分で見付け夢中になって遊んでいるとき、体験を通した遊びは学びになるのです。

5歳児にじ組でのザリガニごっこを通してお伝えします。

A君が「ザリガニになりたい」という思い(自己主張・意欲)をもちました。遊びのはじまりです。

保育室の中にある材料や
今までの経験から、変身する
ためにどうしたらいいか考える。
(思考力)

実物を見たり触ったり、
時には図鑑で詳しく見たり
して特徴を捉える。
(気付き・発見)

思ったようにできないと
やり直したり、材料を変えたり
する。(試行錯誤・探求心)

何を身に付けばザリガニに
なれるか考えて、作る。
(表現するための技能・工夫)

できたものを身に付けて動く。
(表現力・自分でできた喜び)



自分の力でできないと
友達や保育者に助けを求める。
(言葉による伝え合い・
最後まで頑張る力)

同じ遊びをしている友達と
おうちや食べ物を作って遊ぶ。
(伝え合い・目的の共有・
協調性・表現力)

こうして挙げてみると、たくさんのことを、経験し学んでいることが分かります。

「ザリガニになりたい」という思いは、突然芽生えるわけではありません。保育者が用意した環境やこれまでの経験から生まれてきています。自然園でザリガニ釣りをしたこと、釣ったザリガニを保育室でじっくり見たり触ったりしたこと、さらには、昨年5歳児が劇遊びをしている姿をみていたことなどです。そして、保育者は、「作りたい」という思いを実現できるように、たくさんの材料や素材を用意しておきます。その中から選ぶのは、幼児です。ですから、うまくいかないこともあります。自分で選んだことの結果から、気付くこともたくさんあります。うまくいくことが正解なのではなく、失敗しそこからどうしたらいいか考えるところに学びがあります。

A I 技術が進歩し、これからの社会は、求められる仕事内容も大きく変化すると
言われています。新しい時代を生きていくには、学力のようにテストで数値化され、
成果が分かりやすく評価しやすいものではなく、好奇心、協調性、自己主張、自己
抑制、探求心など、遊びの中で学んでいる力が必要になります。



私たち保育者は、『幼児が自分で選んでする遊び』と『学級全体でする活動』(5月号でお知らせ
したこいのぼり作りのような)の双方を充実させ、幼児の遊びが学びとなるようにしていきます。「面白
い」「楽しい」「明日もまたやりたい」とワクワクした遊びを通して、たくさんの学びを積み重ね
ていくことができるように、今の幼児の姿をしっかりと捉え、幼児に合った環境や援助を考えて、保
育の充実に向かって尽力してまいります。

《6月の保育》

★4歳児 たんぽぽ組

保育室前のキャベツの葉にアオムシを見付け、サナギからモンシロチョウに成長するまで観察し、世話をしました。身近な自然や小さな生き物にも興味をもつようになりました。また、ケーキやポテト、楽器などを自分なりに作り、ウレタン積み木やついたてを使って場を作って遊ぶことを楽しんでいます。今月も引き続き、子どもたちの遊びに合わせて、空き箱や京花紙、画用紙などを用意し、遊びが広がるように援助していきます。

学級のみんなで歌ったり踊ったり、簡単なルールのある遊びを行いながら、近くにいる友達のしていることに興味をもち、友達と一緒に体を動かしながら楽しさを感じられるようにしていきます。

下旬からは、水遊びが始まります。水を使ったいろいろな遊びを楽しみながら少しずつ水に慣れ、心地よさや開放感を味わえるようにしていきます。

★5歳児 にじ組

毎日の遊びで楽しんでいることをもとに、学級で1つのテーマに向かって取り組む、『ごっこ活動』を計画しています。2~3人の友達で集まって1つのコーナーを担当し、必要なことを自分たちで考えながら準備を進めていきます。その中で、友達に自分の思いを伝えることや、相手の話を聞くことなど、友達と一緒に進めていくために必要なことを経験していきます。準備する中で、思いのぶつかり合いも十分に経験し、どうしたら互いに納得して進めることができるのか、ということを考える機会にしていきます。最後には、「友達と一緒にだからできた！」という嬉しい気持ちや学級のみんなで1つのものを作り上げた達成感を味わえるようにしていきます。

下旬からはプール指導が始まります。水で遊ぶ開放感を十分に味わい、水の中で伸び伸びと体を動かして遊ぶことを楽しみたいと思います。

熱中症にご注意を！

暑さの厳しい季節が近づいてきました。子供園で遊んでいると、子どもたちは、少し動いただけで、すぐに汗びっしょりになっています。マスクの着脱や水分補給等を行い、熱中症には十分に注意しながら遊びを楽しめるようにしていきます。

子供園では、5月下旬から、午前中の活動の合間にお茶による水分補給を始めました。熱中症を防ぐため、こまめに子どもたちに声をかけ、水分を摂るよう促していきます。

ご家庭でも、こまめな水分補給を心掛けてください！

